

令和4年度

決算審査要望書

堅固な消防行政運営の推進



1

長期化する新型コロナウイルス感染症の対策として西消防署除染棟が建設され、より効果的かつ適切な業務が遂行されている。しかし、近年の林野火災、猛暑や大雨の異常気象などに対応する過酷な労務環境の実態は厳しさを増している。本市の安全安心のため、職員数の適正化を含む持続可能な組織体制の充実、団員の確保など、堅固かつ安定的な消防行政の運営に努められたい。

住みやすいまちづくりの構築



2

コロナ禍における社会変化の中においても、ニーズを捉えた本市のふるさと納税は、顕著な伸びと大きな成果がうかがえる。更なる住みやすいまちや愛着と活気のあるまちへと躍進するとともに、加速する人口減少に対応すべく、コンパクトシティの実現などの各施策を進められたい。また、居住基盤を堅持につなぐ小さな拠点づくりなどの取組を着実に推進されたい。

こどもまんなかのまちづくりへの推進



3

子どもや若者は、一人ひとりがとても大切な存在であり、自分らしく健やかに幸せに成長できるように、社会全体で支える「こどもまんなか」社会を目指して令和5年4月にこども家庭庁が設置された。本市においても「こどもまんなか」のまちへと変えていくための事業の拡充を図る必要がある。ひきこもりやヤングケアラーなど、プライベートで踏み込みにくい課題が多いことから、学校や民生委員児童委員などとの関係強化や支援団体との支援体制の拡充により、対応できる相談業務の充実を図られたい。また、障がいのある子どもや若者も健やかに幸せに成長できるように、放課後等デイサービスなどの利用提供日数の充実や各種助成制度の拡充を図られたい。